

<兵庫民医連家庭医療後期研修プログラム総合診療コース（神戸コース）>

【はじめに】

兵庫民医連に所属する東神戸病院と神戸協同病院は神戸市東灘区と長田区にあります。神戸市は100万人を擁する大都市ではありますが、両病院のある東灘区と長田区では高齢者の割合が高く、とりわけ長田区は神戸市で最も高齢者の多い区です。また、地域コミュニティから外れた高齢者も多くおられ、経済的な問題から生活保護に頼られている方も多い地域です。地域の健康を担っていくにあたって、社会的経済的背景を念頭に置きながら様々な観点からの取り組みが必要となります。東神戸病院も神戸協同病院も、健康づくりのための学習会などの多くの地域活動を通じて予防医学的側面からの地域の健康づくりを進めています。高齢化が進む中、都市部の病院という場で社会経済的背景を理解しながら医療を提供することを通じて家庭医療の後期研修を研鑽していくことを目的としています。

【プログラム名】

兵庫民医連家庭医療後期研修プログラム総合診療コース（神戸コース）

【プログラム運営の基本目的】

1. 地域の人々の健康問題に広くかかわり、住みよい街づくりに貢献する。
2. 社会経済的に弱い立場にある人々の健康を守る。

以上の目的に共感し、地域の診療所や中小病院で活躍できる家庭医を育成する。

【研修目標】

高度専門病院が存在する都市部において、都市型の中小病院や診療所というフィールドで地域の人々の健康問題に広く関わりながら、継続的包括的な医療を提供できる医師を養成する。

1. 家庭医が頻繁に遭遇する common disease の診断と治療に関する十分な知識と技術を身に着けることが minimum requirement である。その習得にあたっては EBM に基づく正確な情報を広く収集し、実践においては予防医学的および公衆衛生学的見地も含めて対応する臨床能力を獲得する。
2. common disease の中に隠れている重篤な疾患を見逃さずに診断し、的確に専門医・専門病院に紹介する臨床能力を獲得する。
3. 中小病院と診療所での外来医療・在宅診療・保健活動をバランスよく行う能力を獲得する。また疫学・行動科学・社会科学の見地から健康な人々も含めた地域集団を対象としたプライマリケア実践の基礎的能力を獲得し、地域の健康問題に対して SDH を意識した科学的な視点でアプローチする。

4. 初期研修医に最も近い指導者として臨床指導が出来るようになる。また初期研修医を指導することを通じて自らの再学習の一助とする。
5. 生涯学習が基本であることを理解し、自己決定型学習を実践する。EBMの考え方をよく理解し、常に最新の情報を得る努力をし、客観的批判的に文献を評価できる能力を養成する。
6. 医師及びその他の医療従事者と常に協同して医療を実践する。チームの一員として自身の責任と役割をよく理解し、チームのパフォーマンスを高める能力を獲得する。
7. 地域の人々との様々な活動を通じて健康教育・予防医学の実践に努め、地域社会の一員としての家庭医の位置付を十分に理解し、実践する

【各ローテーション先で学べる内容や特色】

1. 領域別研修（その他）では、一般外科・整形外科・泌尿器科・透析など、総合診療を身に着ける上で重要な研修を選択することが可能。また緩和ケア研修やリハビリテーション研修は同様のオプションであるが、高齢者ケアには準必須のものであると考えている。
2. 総合診療専門研修Ⅰでは学校保健活動も経験する。
3. 総合診療専門研修Ⅰで研修がなされる診療所所長は診療所研修の現場指導の責任を負うが、プログラム責任者や家庭医療指導医と定期的会議を持ち、研修内容について情報を交換する。

【研修対象、期間、定員】

対象者：初期臨床研修修了者（修了直後でなくても良い）

期間：3年間

定員：2名

【研修施設】（病床数、指導医）

1. 総合診療専門研修Ⅰ
 - いたやどクリニック（無床、坂井徹） 神戸市長田区
 - 東神戸病院（166床、藤末衛・幡野舞） 神戸市東灘区
2. 総合診療専門研修Ⅱ
 - 神戸協同病院（148床、上田耕蔵・津田清・眞鍋信也・松尾直仁） 神戸市長田区
 - 東神戸病院（166床、遠山治彦・高島典宏・大槻智子） 神戸市東灘区
3. 領域別研修
 - <内科> 神戸市立医療センター西市民病院（358床、小西弘起） 神戸市長田区
 - <小児科> 神戸市立医療センター西市民病院（358床、江口純治） 神戸市長田区
 - <救急科> 神戸市立医療センター西市民病院（358床、小西弘起） 神戸市長田区

【モデルとなるローテーション例】

例 1

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修 I < 東神戸病院 >											
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	領域別研修・内科 < 西市民病院 >						領域別研修・小児科 < 西市民病院 >			領域別研修・救急科 < 西市民病院 >		
3年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合臨床専門研修 II < 神戸協同病院 >						選択科目・緩和ケア < 神戸協同病院 >			選択科目・回復リハ < 神戸協同病院 >		

例 2

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修 I < いたやどクリニック >											
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	領域別研修・内科 < 西市民病院 >						領域別研修・小児科 < 西市民病院 >			領域別研修・救急科 < 西市民病院 >		
3年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合臨床専門研修 II < 東神戸病院 >											

例 3

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修 II < 東神戸病院 >						総合診療専門研修 I < 東神戸病院 >					
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	領域別研修・内科 < 西市民病院 >						領域別研修・救急科 < 西市民病院 >			領域別研修・小児科 < 西市民病院 >		
3年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合臨床専門研修 I < いたやどクリニック >						総合臨床専門研修 II < 神戸協同病院 >					

【指導体制】

東神戸病院・神戸協同病院の両院で、日本プライマリケア学会指導医10名（家庭医療専門医1名を含む）が主な指導に当たる。

【研修評価】

自己評価および指導医、他職種、地域の人々からの多面的な評価を行います。

各症例について担当指導医との日々のディスカッションを基本とし、指導医以外の医師も含めた症例検討を月2回実施する。各研修医と指導医は最低2ヶ月に1回は振り返りを行い、研修の到達状況の評価を行う。

【研修支援】

研修評価とは別に、プログラムおよび施設管理者とは関係のないメンターを設定し研修医の援助を定期的に行います。

（近畿の民医連・医療生活協同組合のネットワークもしくは外部の医学教育者に依頼）。

【研修修了後の進路】

- ・研修医本人の希望や適性に応じ、兵庫民医連医師委員会が対応します。
- ・兵庫民医連でスタッフ医師として就職することを希望される場合は、兵庫民医連理事会での討議をへて所属法人を決定する。

【研修プログラム責任者、指導医】

研修プログラム責任者：松尾直仁（神戸協同病院）

指導医 神戸協同病院 : 上田耕蔵、津田清、眞鍋信也

東神戸病院 : 藤末衛、遠山治彦、高島典宏、大槻智子、幡野舞

いたやどクリニック : 坂井徹

【お問合せ先】

神戸協同病院・医局担当事務次長：安藤好幸

Tel : 078-641-6211 E-Mail : ikyoku@kobe-iseikyo.or.jp